

令和6年度

情報モラル・ネット依存講座



日時： 令和6年6月7日（金） 13:20~14:10
場所： 袋井南中学校体育館
演題： 「安全・安心の賢い利用者
（SNSを通じたいじめや性被害、ネット・ゲーム依存症）」
講師： NPO浜松子どもとメディアリテラシー研究所理事長 長澤弘子様
進行： 司会(情報担当)
13:20~13:22 はじめの挨拶・講師紹介(校長先生)
13:22~14:02 講演
14:02~14:05 質問タイム
14:05~14:07 生徒代表お礼の言葉 <1年2組 多米>
14:10~ おわりの挨拶



【トラブルに巻き込まれないために・・・】

- ・「分からない」ということを自覚する
→ 使わない
 - ・「怪しい」と思ったこと
→ やめておく
 - ・依存症は病気
→ 長時間使わない、コントロールする
- 『自分で自分を守る』～伝える力を高め、大人に相談する！

使用者の責任



インターネットメディアに関する講演をしてくださり、ありがとうございました。どの内容も興味深かったです。

特に小学校に入る前からインターネットを使っている人が9割くらいいたことに驚きました。ネットでつながっている約53億人の中には悪い人もいて、犯罪に巻き込まれるかもしれないということを知りました。今日、お話しもらったことは身近なことだとは思っていませんでしたので少し怖く感じました。

インターネットには友達と直接会わなくても連絡することができたり、物事を簡単に調べることができたりとメリットがあります。反面、個人情報知らない人に広められたり、インターネット詐欺に巻き込まれたりするデメリットがあります。両方の側面をしっかりと理解して正しく活用したいです。

講話を聞いて印象に残ったことが2つあります。

1つ目は楽しみながら学ぶことです。5種類の色を使って「あなたはどおする？」という質問に答えました。参加しているという感じがして講話の内容の理解につながりました。2つ目はインターネットの怖さのお話です。スマホを持ったら相手の顔が見えない怖さを思い出し、危険に巻き込まれない賢い利用者になりたいです。ありがとうございました。

Youtubeなどをよく視聴しています。個人情報の流出が簡単にされてしまうことには驚きました。自分は関係ないと思って利用していると自分が「悪いことをする側」になるかもしれないと思いました。節度を守って、楽しく使いたいです。



講話していただくことはあらためて知ること多かったです。トラブルに巻き込まれないようにスマホなどを使用する時は、正しい判断をしていきたいです。ゲームをする使用する時間を決めたり、困った時は大人に相談したりしていきたいです。
学年代表 多米さん